

安全データシート

作成日・改定日

2019年7月30日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

トーホーピット160 主剤

会社名
担当部門

東邦化成工業株式会社
技術部

住所

〒171-0033
東京都豊島区高田2-1-12

電話番号
FAX番号

03-3988-3366
03-3985-6975

推奨用途及び使用上の制限

ペーストゴムライニング剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

発がん性
生殖毒性
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

区分2
区分2
区分1

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険



危険有害性情報

発がんのおそれ。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
長期又は反復ばく露による臓器(肺)の障害。

注意書き

[安全対策]

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
換気の良い場所で使用し、必要に応じて保護マスク、保護手袋等を着用すること。
こぼれた場合は布等でよく拭き取り、水を張った容器に保管すること。
取扱い後は手洗い、うがいを十分に行うこと。
気分が悪くなった時は空気の清浄な所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
眼に入った場合、誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診察を受けること。
火災時は炭酸ガス、泡沫または粉末消火器を使用すること。
40℃以下の施設に出来る場所に密閉して保管すること。
内容物や容器の破棄は都道府県知事の許可を受けた専門業者に委託すること。

3. 組成・成分情報

単一物質、混合物の区別

混合物

成分	含有量(%)	化審法	CAS No.
ポリブタジエン系樹脂	64.0~68.0	6-722、6-757	69102-90-5
カーボンブラック	31.0~35.0	-	1333-86-4

4. 応急処置

吸入した場合

直ちに患者を毛布等にくるみ安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合には直ちに人工呼吸を行い、医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

多量の水で15分以上洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
無理に吐き出させないこと。
医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、二酸化炭素、泡沫又は粉末消火剤
使ってはならない消火剤	棒状水
特定の消火方法	初期消火：炭酸ガス、粉末消火剤 大規模火災：大量の水、泡沫消火剤
消火を行う者の保護 (保護具等)	消火作業は風上から行い、密閉された場所での消化作業は 自給式呼吸具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」 の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物 に触れてはいけない。 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
環境に対する注意事項	河川等に排出され環境へ影響を起こさないように注意する。
回収、中和	乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容 器に回収し、後で廃棄処理をする。

7. 取扱及び保管上の注意

[取扱] 技術的な対策 (取扱者のばく露防止、火災爆発の防止など)	静電気対策のために装置、機械等の接地を確実にを行い、作 業着、作業靴は導電性の物を用いる。 電気機器類は防爆型の物、工具は火花防止型の物を用いる。
局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換 気を行なう。
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼、皮膚に付けないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

<p>接触回避</p>	「10. 安定性及び反応性」を参照。
<p>[保管] 技術的対策</p>	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。
<p>保管条件</p>	<p>雨水の混入、浸水の恐れのない場所に保管すること。</p> <p>冷乾燥場に密閉保管すること。</p> <p>貯蔵物は全てアースし、スパークしない用具、装置を使用すること。</p>
<p>混触危険物質</p>	「10. 安定性及び反応性」を参照。
<p>容器包装材料</p>	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

<p>管理濃度</p>	設定されていない
<p>許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産業衛生学会(2010年度版)</p>	<p>カーボンブラック</p> <p>吸入性粉塵: 1mg/m³</p> <p>総粉塵: 4mg/m³</p>
<p>ACGIH</p>	10mg/m ³
<p>設備対策</p>	空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
<p>呼吸器の保護具</p>	適切な呼吸器保護具を着用すること。
<p>手の保護具</p>	適切な保護手袋を着用すること。
<p>眼の保護具</p>	<p>適切な眼の保護具を着用すること。</p> <p>保護眼鏡(普通眼鏡型・側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型)</p>
<p>皮膚及び身体の保護具</p>	適切な顔面用の保護具を着用すること。
<p>衛生対策</p>	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	黒色ペースト
臭い	無臭
pH	該当なし
沸点	データなし
引火点	298°C
爆発範囲	データなし
蒸気密度(空気 = 1)	データなし
比重(密度)	1.14(20°C)
溶解度	水に難溶、有機溶剤に可溶
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	400°C(ポリブタジエン系樹脂) 290～520°C(カーボンブラック)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性	可燃性あり。 水との反応性なし。 酸化還元物質であり、酸化剤との接触混合を避ける。
避けるべき条件	50°Cで長時間置くと酸化剤が重合して粘度が上昇することがある。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼によりCO、NO _x 等の有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	ポリブタジエン系樹脂 経ロラット	LD ₅₀ > 34600mg/kg
	カーボンブラック 経ロラット	LD ₅₀ > 8000mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	区分外	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外	
発がん性	区分2	IARC : グループ2B及び日本産業衛生学会第2群B
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1(肺)	

12. 環境影響情報

[ポリブタジエン系樹脂]

生態毒性	ヒメダカ	LC ₅₀ > 1000mg/L/96h
残留性・分解性	データなし	
蓄積性	データなし	

[カーボンブラック]

水生環境有害性(急性)	区分外
生態毒性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部へ流出しないように密栓する。

14. 輸送上の注意

注意事項

国連番号: 非該当

国連分類: 非該当

運搬は消防法その他関係法規の定めるところによる。
荷役作業場は火気厳禁とし、消火器を設置すると共に作業中の標識をする。
車両には、異常時の為の応急措置に必要な消火器、保護具を備える。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物
危険物の船舶輸送及び貯蔵規則	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
労働安全衛生法	通知対象物質(カーボンブラック)
毒物及び劇物取締法	非該当

16. その他の情報

注意

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありませんので、取扱いには十分な注意をお願いします。